

第10回錯体物性化学講演会

山下正廣 教授

東北大学 大学院理学研究科
化学専攻



原子・分子やバルクの世界では見られないような新奇な「非線形性」や「量子効果」が観測されるナノサイズの世界を舞台に、電子状態、構造や機能性を自由に制御できる無機・有機ハイブリッド物質を対象に、磁性、伝導性、光物性、誘電性などが複数絡み合った高次機能性物質に関する世界トップレベルの研究を展開されている山下正廣先生（東北大学大学院理学研究科 教授）をお招きして、講演会を開催いたします。皆さまのご来聴をお待ち申し上げます。

日時：2014年9月1日（月）16:00～17:30

場所：理学部2号館3階 化学第2講義室 (2355室)

講演タイトル：強相関電子系ナノワイヤー Pd(III) 錯体の創成

要旨：擬一次元ハロゲン架橋 Pt, Pd および Ni 錯体は、Pt と Pd の場合は電子格子系の M(II)-M(IV) 混合原子価状態を取るが、Ni の場合は強相関電子系 Ni(III) モット絶縁体を取る。しかし、我々は3種の方法を用いることにより世界で初めて強相関電子系 Pd(III) モット絶縁体の合成に成功した。これは三次非線形光学効果など、光物性の方面から興味を持たれ、今後、光通信や光コンピューターへの展開が期待される。

連絡先：理学研究院化学部門 大場正昭

E-mail: ohba@chem.kyushu-univ.jp, Tel: 092-642-2570